

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称：フェノバボードフネン / ウチコミ / ウチコミフネン

供給者の会社名称、住所および電話番号：

会社名：フクビ化学工業株式会社

担当：マネジメントシステム部

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

TEL：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2018年12月20日 改定：2024年5月24日

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類：（成形体につき、GHS 分類に該当しない）

物理化学的危険性：区分に該当しない。

健康に対する有害性：区分に該当しない、または分類できない。

環境に対する有害性：いずれの項目も分類できない。

GHS ラベル要素：

絵表示：該当しない。

注意喚起語：該当しない。

危険有害性情報：該当しない。

注意書き：該当しない。

3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物

化学名または一般名：発泡フェノール樹脂成形体

成分：発泡させたフェノール樹脂成形体に、ガラス繊維混抄紙、アルミニウム合金箔入りガラス繊維混抄紙、
防水層入りガラス繊維混抄紙を貼り合わせた成形体。

CAS RN.：特定できない（フェノール樹脂）

化学式：特定できない（フェノール樹脂）

4. 応急措置

眼に入った場合：

切削くず、粉じん等が眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流す。

眼に異常を感じた場合、医師の診察、手当を受ける。

吸入した場合：

粉じんや加熱等により生じたガス等を吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移して安静にさせる。

気分が悪い場合、医師の診察、手当を受ける。

皮膚に付着した場合：

切削くず、粉じん等が皮膚に付着した場合、水と石けんで洗う。

かゆみや腫れ等が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口の中をすすぐ。無理に吐き出させない。

直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。

特定の消火方法：

できるだけ風上側から作業を行う。火元の燃焼源を断つ。

指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行う者の保護：

火災時には、一酸化炭素、二酸化炭素、スス等が生じるおそれがある。

呼吸保護具、化学品に対する保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

回収作業では適切な保護具を着用する。

回収物を廃棄する場合は、廃棄物処理法、関係する地方自治体の条例に従い処理する。

環境に対する注意事項：

環境中に放出しない。本品が河川や湖沼等に流出した場合は必ず回収する。

回収、中和、封じ込めおよび浄化の方法、機材：

漏出した粉じん、屑等は流れを止め、安全な場所にその流れを導く。

掃き集めるなどして、回収する。

環境中に放出しないように注意する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないように適切な保護具を着用する。

火や高温体の近傍では取り扱わない。

保管：

高温、火気、高い湿度、水濡れ、直射日光等を避けて、室内倉庫に保管する。

荷崩れ、変形、破損等のおそれがあるので、過大な積み重ねをしない。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：粉じんとして

日本産業衛生学会：4mg/m³（総粉じん）

ACGIH 勧告値：10mg/m³（総粉じん）

設備対策：

切断、加工作業では、集じん装置、局所排気装置を設置する。

保護具：

防じんマスクなどの呼吸器保護具を着用する。

適切な保護眼鏡（普通眼鏡、側板付き普通眼鏡、ゴーグル等）、保護面を使用する。

長袖衣などの保護衣、保護手袋を着用する。

9. 物理的および化学的性質

物理状態：固体。

色：茶褐色（フェノール樹脂成形体）。

臭い：なし。

融点：特定できない。高温では分解する。

沸点または初留点および沸点範囲：特定できない。高温では分解する。

可燃性：難燃性。

爆発下限界および爆発上限界 / 可燃限界：特定できない。高温では分解する。

引火点：特定できない。高温では分解する。

自然発火点：特定できない。高温では分解する。

分解温度：特定できない。

pH：該当しない。

動粘性率：該当しない。

蒸気圧：特定できない。

密度：25 kg/m³ 以上。

相対ガス密度：該当しない。

溶解性：水、有機溶剤に不溶。

粒子特性：該当しない。

10. 安定性および反応性

安定性、危険有害反応可能性：常温以下の保管、取り扱いでは安定。

避けるべき条件：水濡れ、高温多湿を避ける。

危険有害反応可能性：粉じんは爆発性混合気を生じる場合がある。

危険有害な分解生成物：強い熱等で分解すると、一酸化炭素、スス等を発生する。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：

製品としての情報なし。

切削くずや粉じんにより物理的な刺激作用が考えられる。かゆみや腫れ等が生じる場合がある。

急性毒性：特記すべき成分なし。

皮膚腐食性 / 刺激性：情報なし。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性：情報なし。

呼吸器感作性または皮膚感作性：情報なし。

生殖細胞変異原性：情報なし。

発がん性：情報なし。

生殖毒性：情報なし。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：特記すべき成分なし。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：情報なし。

誤えん有害性：情報なし。

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報：

製品としての情報はないが、環境中に流出すると影響が考えられる。

生体毒性：情報なし。

残留性 / 分解性：情報なし。

生態蓄積性：情報なし。

土壌中の移動性：情報なし。

オゾン層への有害性：情報なし。

13. 廃棄上の注意

処理にあたっては、廃棄物の処理および清掃に関する法律、各地方自治体で定められた条例等に従って適正に処理する。処理を委託する場合は、許可を受けた業者に委託する。

14. 輸送上の注意

注意事項：

輸送中、製品の飛散、日光による紫外線ばく露、雨などによる水濡れを避ける。

シート掛けなどの必要な措置を講じる。

バンド掛けを行う場合、製品の端部が凹まないよう保護板を介す。

製品の荷揚げ、荷下ろしでは、乱暴な取り扱いを避ける。

国連分類、国連番号：非該当。

指針番号：非該当。

15. 適用法令

該当法令の名称およびその法令に基づく規制に関する情報：

労働安全衛生法：非該当

毒物および劇物取締法：非該当

化学物質管理促進法：非該当

消防法：非該当

16. その他の情報

引用文献：

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

化学工業日報社 15307 の化学商品

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。